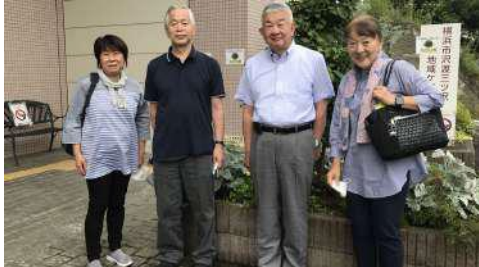


2021年度 ハマボノプロジェクト

支援先団体名	区	支援メニュー	ページ
三ツ沢地区社会福祉協議会	神奈川	ウェブサイト (ママボノ)	2
助け合いグループ「春一番」	南	印刷物	5
ソフトタウン根岸（ささえあいたい）	磯子	事業計画立案	9
金沢東部地区社会福祉協議会	金沢	マーケティング 基礎調査	10
居場所づくり濱なかま	港北	事業計画立案	11
竹山地区社会福祉協議会	緑	印刷物	12
ふらっとステーション・ドリーム	戸塚	事業計画立案	15

プロジェクト紹介

三ツ沢地区社会福祉協議会



神奈川県

三ツ沢地区社会福祉協議会

プロジェクトの種類 ウェブサイト

プログラム

ママボノ

進捗率 進捗率 100 %

進捗状況

プロジェクト成果

その後の変化

神奈川県三ツ沢地区で、「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を目指す、地域住民主体の活動組織団体。団体を構成するのは、自治会町内会の会長、民生委員児童委員、保健活動推進員、青少年指導員、スポーツ推進委員、地域の医療従事者、障がい者施設代表、三ツ沢学童クラブ、三ツ沢キッズクラブ、ボランティア、老人クラブ、学校等地区内の様々な方。地域のお祭りなどの交流事業、地域福祉活動の研修会、コミュニティカフェやこども食堂などを展開しています。

現状の課題として、以下のような点があります。

- ・三ツ沢地区社会福祉協議会がどのような活動をしているのか、住民の方にはわかりにくい状況です。
- ・町会それぞれが活発に大小さまざまなイベントや居場所などの活動をしていたり、いくつかの町会でそれぞれウェブサイトを持っていたりしますが、三ツ沢地区全体としての情報発信が足りません。町会としての活動は情報発信の場があっても、社協として動いている活動は情報発信の場が現在ありません。
- ・福祉関連情報だけでなく、三ツ沢地区の地域の魅力を発信することで、活動を知る間口を広げ、サービスの利用者や活動に関わる人を増やしたいと考えています。
- ・三ツ沢地区としての活動情報の蓄積がされていないため、ウェブサイトを使用することで、活動アーカイブとしたいと考えています。

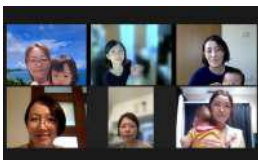
そこで、今回ママボノプロジェクトで、三ツ沢地区全体のウェブサイトを作成し、地区全体の魅力を伝え、参加者や関わる人を増やすための情報発信を目指します。

進捗状況

リーダー： 古場さん 渡邊さん

メンバー： 岩崎さん 勝畑さん 久保さん 隅田さん

2021.10.08



チームの初めての顔合わせであるオリエンテーションを実施しました。自己紹介をし相互理解をするとともに、プロジェクトの内容について理解を深めました。

2021.10.15



チームミーティングを実施、支援先に関する情報共有、作業範囲の確認など、キックオフミーティングに向けた準備を行いました。

2021.10.22



キックオフミーティングを実施し、三ツ沢地区社会福祉協議会の活動や、今回制作するウェブサイトのニーズやプロジェクトへの期待などについて確認をしました。

2021.10.25



チームミーティングを実施し、中間提案までのスケジュールの検討、ヒアリング実施の検討・調整、ウェブサイトのたたき台作成などを行いました。

2021.10.27

三ツ沢地区社会福祉協議会で活動する方へのヒアリングを実施しました。

2021.11.04



オンラインでチームミーティングを行い、ステークホルダーへのヒアリング結果の共有、ハロウィンイベントへの参加報告とヒアリング結果共有、WIXの操作方法共有、ロゴマークの進捗報告などを行いました。

2021.11.08



オンラインでのチームミーティングを実施しました。ウェブサイト制作に向けて支援先団体の方からいただいているご要望について検討をし、ウェブサイト制作の分担などを行いました。また、11月15日に控えている中間提案に向けた報告書や提案内容などを検討しました。

2021.11.15



オンラインで、中間提案ミーティングを実施しました。地域の魅力を伝えるウェブサイトとなるよう、これまでのヒアリング結果や支援先の方からのリクエストを踏まえたウェブのイメージや更新方法などについてご提案をしました。団体の方からは、「短い期間でとても整ったサイトになっていますね。いい感じですね!!」などの喜びのコメントをいただきました。また、今後の流れを確認しました。

2021.11.22

チームミーティングを実施し、ウェブサイト完成に向けた作業や分担など、詳細の確認をしました。

2021.12.06



です。

成果提案ミーティングを実施しました。チームが作成したウェブサイトや、それと連携するSNSの確認、マニュアルのご紹介をしました。そして、ミーティングの最後に、ウェブサイトやSNS活用に向けて、地域の団体の皆さんにどのように情報発信に参加いただくかのディスカッションを行いました。とても有意義なミーティングとなりました。支援先団体さんからのフィードバックをお待ちし、修正をして、納品予定です。

2021.12.08



後半は、チーム内でのメンバー同士のフィードバックをしました。

東京エリアのママボノ成果報告会に参加をしました。前半には各プロジェクトからのプロジェクト報告を行い、三ツ沢地区社会福祉協議会チームも、ホームページやプロジェクト内容の報告をしました。会に参加をした他のチームから、「ツールを作っただけでなく、運用を想定したディスカッションの場を作られたこと、素晴らしいと思いました!」「見やすく素敵なサイトです!!インスタ、NOTEも見てみます!」などの感想をいただきました。

2021.12.10

支援先団体より、成果提案ミーティングでご提示したウェブサイト、関連資料についてのフィードバックを受け取りました。

2021.12.20

支援先団体からのフィードバック内容を反映し、最終成果物を納品しました。

プロジェクト成果



三ツ沢地区の魅力を発信するウェブサイトが完成。地域で協力しあいながら、情報発信をしていきます。

三ツ沢地区の魅力や地区全体のことがわかるウェブサイト、10の町会や様々な地域活動団体の活動を伝えるウェブサイトが欲しいという三ツ沢地区社会福祉協議会役員の皆さんの思いから、このプロジェクトがスタートしました。

完成したウェブサイトは、優しい緑色の背景のページに三ツ沢地区の素敵な風景写真を活かした温かい印象のページになりました。ニュースページは、SNSと連携して地域活動をする方が情報更新を直接できるようにすることで、“ウェブサイトを更新する”というハードルを下げる工夫をました。今後は、三ツ沢地区社会福祉協議会が主体となりながら、三ツ沢地区の魅力や活動のご紹介など、地域で活動をする皆さんとともに情報発信していきます。

支援先の方からは、「センスのいいウェブサイトができ、見た人から、きれい、ステキと言われます。SNSと連携させることで、多くの人が参加しやすい形になりました。」という喜びの声をいただきました。

(2022年2月2日時点の情報です)

[完成したウェブサイトはこちら（外部サイトにリンク）](#)

プロジェクト成果の“その後”



明るい雰囲気ウェブサイトができ、ぜひこれをさらに活用して広めたいと思っています。ウェブサイトの更新は、これまでほぼ一人で（谷内さんが）進めてきましたが、今後の継続を考えて、更新してくれる方を新たに募集しています。2023年度に地域へのアンケート調査を実施し地域活動への関心などを聞いていの中で、ウェブ更新に関心がある方もすでにいらっしゃいます。できれば数名集めて、チーム制でウェブ更新を進めていきたいと考えています。



主な掲載内容は、団体内での議事録の蓄積と、地域の方に向けた三ツ沢地区の紹介です。特に、住民の方や近隣の方に向けた三ツ沢地区の情報をこれから充実させたいと考え、テスト的に、「三ツ沢」の名前の由来を掲載したところ、おもしろいという声をいただきました。今後は、お店や医療機関、介護関連施設などの情報なども載せて、アクセスを増やしたいと考えています。

また、地域へのご案内には、「詳細はウェブサイトへ」などとして、ウェブサイトへ誘導する流れも作っていきたいと考えています。

[2024/2/2 三ツ沢地区社会福祉協議会 代表 谷内様へのヒアリングより]

プロジェクト紹介

助け合いグループ「春一番」



南区

助け合いグループ「春一番」

プロジェクトの種類 印刷物（ボランティア活動紹介資料）

プログラム

ハマボノ

進捗率

進捗率 100 %

進捗状況

プロジェクト成果

その後の変化

助け合いグループ「春一番」は、20年以上にわたり、毎週土曜日に夕食(お弁当)を作り、お届けしているボランティアグループです。利用対象は高齢者等、ご自身でお食事の準備が困難な方です。スタッフが利用者に連絡をし、状況に応じてケアマネジャーと情報共有・連携をするなど、地域における見守り機能も果たしています。

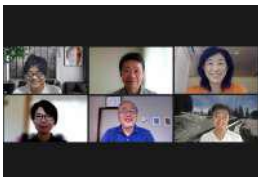
新型コロナウイルス感染症の影響により一時活動を休止していましたが、その際の利用者アンケートで「週一回のお弁当を楽しみにしている」「スタッフに会えるのを楽しみにしている」等の声が多く集まりました。

課題は、スタッフも高齢化しているため、スタッフ活動の効率化、若い世代を取り込むことです。活動を継続していくため新たな、特に若いスタッフを仲間に加えて、活動の効率化を図りながら、より一層、配食の活動と地域の見守り機能を強化していく必要があります。

そこで、プロボノで、配達班のボランティアの活動紹介資料の作成を支援します。活動の説明書ではなく、活動の紹介や流れ、工夫点等をわかりやすく表現し、新たにボランティアに参加する方も進め方を容易に覚えることが出来るものを目指します。

進捗状況

2021.09.11



オリエテーションを実施し、チームの初顔合わせ、チームミーティングでプロジェクト内容の確認などを行いました。次のミーティング予定を調整し、キックオフミーティングに向けた準備を進めます。

2021.10.02



プロボノチームと支援先団体との顔合わせであるキックオフミーティングを実施、団体の活動についてプロボノワーカーの皆さんが理解を深める場となりました。また、今後のプロジェクトの進め方のすり合わせをしました。

2021.10.09

Zoomでのチームミーティングを行い、キックオフで得られた情報を基に、印刷物の案の作成をスタートしました。

2021.11.06



3名で支援先を訪問し、活動を一通り見学させていただきました。20年以上続けてきた活動の意義を感じ、これからも活動が継続するためのお手伝いとなるようなプロジェクトにしたいという気持ちを高めました。

2021.11.28

中間報告を前に、団体さんへの確認事項や段取りについてチームミーティングを行いました。

2021.12.04

春一番さんに伺い、中間提案を実施しました。その際、団体さんの月一回の全体ミーティングにお邪魔して、全員からご意見を伺うことができました。改めてパンフレットの目的や、詳細を確認しました。

2022.01.29

成果提案ミーティングを支援先団体の活動場所で行いました。支援先団体から数名、支援者1名、チームからも2名が現地参加をし、残りのチームメンバーはオンライン参加となりました。和気あいあいとした雰囲気の中でのミーティングとなりました。

最終成果物であるチラシに、いくつか追加項目の提案があり、その場で対応しました。加えて、今後チラシ修正の際に団体の方がご自身で対応できるように、手順書を作成し追ってお送りすることになりました。

2022.02.01

チラシ更新の手順書を納品しました。

2022.02.02

すべての成果物の納品を確認しました。

プロジェクト成果



お弁当の配達ボランティア募集のチラシも兼ねた、団体の活動内容を分かりやすく記載したリーフレットを作成しました

新たなボランティアの方に関わっていただけるような活動紹介資料を作成することで、仲間を増やしながら活動を継続していきたいという思いから、今回のプロジェクトがスタートしました。

ヒアリングやミーティングを重ねた結果、配達班のボランティア募集を前面に出し、活動紹介も兼ねたA3サイズ両面のリーフレットを作成することとなりました。見る側の目線を取り入れ、配架スペースで「ボランティア募集中」が目立つように、チラシを兼ねた表紙を作成しました。そして、初めての人にも流れが分かるように、見開きで活動紹介を詳細に記載しました。裏表紙には、よくある質問を記載し、ボランティアに関心がある方の不安を解消できるような工夫もしています。

完成したリーフレットをまずケアプラザに置いたところ、早速ボランティアの応募があり、上々の滑り出しになりました。

このプロボノ活動でのヒアリングやミーティングは、団体の今後を考えるうえで、も有益なものになりました。

(2022年2月10日時点の情報です)

プロジェクト成果の“その後”



成果物のリーフレットは、主にボランティアの募集を目的としてケアプラザや南区社会福祉協議会のボランティアセンターでの配架や、ボランティア希望の方への説明の際に活動内容を紹介する資料としての活用をしています。データで納品いただいたので、用途に合わせて内容や用紙サイズを変えて活用しています。これからボランティアを考えている方からは作業の流れが一目でわかりやすいとの声もあり、新しく活動に入っていただくきっかけになりました。また、地域活動をつなぐ関係機関へも、活動内容や活動目的を紹介しやすくなりました。

ハマボノ参加の直接的な効果として、当初の目的だったボランティアの参加者を増やすということが実現できました。さらに、間接的な効果としては、プロボノワーカーの方たちと一緒にチラシを作っていく中で、改めて「春一番」の活動意義や大事にしていきたいところを再認識することができました。

また学生などの若い世代のメンバーも増えたことで、パソコンを利用した作業の効率化や今後の活動の継続に向けた議論も始まっています。

[2023/4/22 助け合いグループ「春一番」 西村様、大岡地域ケアプラザ 山本様へのヒアリングより／ご協力：プロボノワーカー植田さん、日向さん]

プロジェクト紹介

ソフトタウン根岸 (ささえあいたい)



磯子区

ソフトタウン根岸 (ささえあいたい)

プロジェクトの種類 事業計画立案 (利用促進のための広報戦略策定)

プログラム

ハマボノ

進捗率 進捗率 100 %

進捗状況

プロジェクト成果

その後の変化

ソフトタウン根岸 (ささえあいたい) は、約330世帯が入る団地「ソフトタウン根岸」の自治会が運営している団地内の生活支援活動です。「誰もが幸せに暮らせる町」を目指して、平成30年に発足。日常支援活動や訪問活動など日常のお困りごとを住人同士でサポートする、ささえあい活動を行っています。

発足から3年間、潜在的に生活支援を必要とされている団地住民の方々への支援が充分届いていないため、利用者を増やすための施策が必要です。

そこで、利用者を増やすことを目的に、住人からの認知度や、利用の妨げとなっている理由、団体や提供サービスの魅力などを調査し、調査結果を踏まえて、広報戦略の策定及び試行をします。

進捗状況

リーダー： 竹田さん

メンバー： 清兼さん 中根さん 本間さん 渡辺さん 棚橋さん

2021.09.11



オリエンテーションを実施しました。初めてお会いするチームメンバーですが、皆さん前向きに今後の進め方を討議くださいました。いよいよ始動です！

2021.09.19

チームにて、今後の進め方を決める打ち合わせを実施しました。

2021.09.26

チームから団体様に質問表を送付しました。

2021.09.27

キックオフミーティングに向けて、チーム内で資料の作成等の準備を実施しました。また、団体様より、チームからの質問表のご回答をいただきました。10/2(土)のキックオフミーティングでは、更に詳しくお聞きし、理解を含め、より良いご提案が出来るように進めています。

2021.10.02



今日のキックオフミーティングの場で、プロボノチームと支援先団体さんが初めて顔を合わせました。プロボノワーカー2名は団体さんと対面で、他のプロボノワーカーの皆さんはオンラインでの対面となりました。キックオフミーティングでは、事前にプロボノワーカーの皆さんが作成された質問表をもとに、団体さんの活動についてプロボノワーカーの皆さんが理解を深め、今後のプロジェクトの進め方のご相談を実施しました。これからヒアリングに向けて準備を整えていきます。

2021.10.05

チームミーティングを実施し、ヒアリングに関する準備を行いました。

2021.10.08

団体さんの関連の皆さんへのヒアリングの日程調整を行いました。

2021.10.11

週末に控えたヒアリングの準備をチームで行いました。

2021.10.17

関係者およびステークホルダーの皆さんへのヒアリングを実施しました。皆様の直接のお声をお聞きし、状況を深く知る貴重な時間となりました。

2021.10.18

チームにて、ヒアリング結果のまとめの方法を検討し、アンケートをさせていただく準備を開始しました。

2021.10.26

チームでの打ち合わせを実施し、今後の方向性の支援先団体さんとの摺り合わせ等について議論を重ねました。

2021.11.02

チームでの打ち合わせにて、今後の進め方を確認しました。

2021.11.06

支援先団体さんに、アンケート実施のご説明と、当プロジェクトで実施する内容についての素案についてご説明しました。

2021.11.10

チームで今後の進め方について打ち合わせをしました。

2021.11.15

プロジェクトマネージャーと支援先団体の代表の方との打ち合わせを実施し、今後の進め方や内容について話し合いを行いました。また住民の皆さんへのアンケート配布のスケジュールや結果のまとめ方等を確認しました。

2021.11.16

昨日の支援先団体の代表の方へのご訪問結果をチームにて共有し、チームメンバーにて今後の進め方を話し合いました。

2021.11.22

アンケートの進捗確認と新たな広報案等を相談するチームミーティングを実施しました。

2021.11.30

アンケートが集まりました。結果の分析と共有、それをもとにした今後の方向性の検討会に向けて準備を進めています。

2021.12.06



チームにてアンケートから見えてきたことを確認し、支援先団体さんと討議すべきことを検討しました。

2021.12.12



実施したアンケート結果を団体の皆さんとプロボノチームが検討する打ち合わせを実施し、成果物としてご提供する範囲を確認しました。成果提案に向けて動き出すと同時に、年内に団体さんに実施いただく施策も検討しました。

2021.12.14

チームにて、近々控えている「お餅の配布」に同包いただく団体さんの活動メニュー等のチラシの雛形を整える打ち合わせと、成果提案へ向けての下準備を開始しました。

2021.12.20

チームにて成果提案に向けて準備を進めました。「かわら版」の構成について素案の検討を行いました。

2021.12.27



チームにて、成果提案の準備と「かわら版」の雛形作成のための案の討議を行いました。

2021.12.30

チームより、今後発行する「かわら版」の構成素案を作成の上ご提出し、サポーター募集案をご提示しました。

2022.01.04

チームで、アンケート報告書を取りまとめ、成果提案の内容について話し合いを行いました。

2022.01.11

チームの打ち合わせを実施し、1/23日(日)のサポーター向けのアンケート結果報告のご支援の準備と、成果提案の準備を行いました。

2022.01.18

チームの打ち合わせを行い、引き続き成果提案の準備を行いました。

2022.01.23

支援先団体さんで行われたサポーター向けの説明会で、ハマボノチームよりアンケート結果のご説明を行いました。ご意見をお聞かせいただく場となりました。

2022.01.26



1/30(日)の成果提案の最終打ち合わせをチームにて行いました。

2022.01.30



成果提案を行いました。プロボノチームの提案の発表後、団体の方から「提案いただいた広報活動ひとつひとつを着実に実施していきたい」「多くのアイデアをいただいた」という感想をいただきました。また支援者の皆さんから、団体さんの今後の活動に役立つ内容となったの

で、支援者も引き続き見守っていききたい、との言葉をいただきました。今は活動が難しい状況ですが、団体さんが今後一歩ずつ歩んでいかれることを祈念し、全員で拍手をしてプロジェクトが完了しました。

2022.01.30

提案に対する回答と承認が実施され、プロジェクト完了しました。

プロジェクト成果



利用者と担い手の拡大のための「広報戦略案」を提案しました

コロナ禍にて活動が停滞し、また潜在的に生活支援を必要とされている団地住民の方々への支援が充分届いていない状況が続いていました。

そこでハマボノ活動の第一歩として、住人の方々に向けて、団体活動の認知度、利用の妨げとなっている理由、団体や提供サービスの魅力等を調査するアンケートを実施したところ、活動の認知度は高く、支援を望んでいらっしゃる方が多いことを再認識できました。

アンケート結果を踏まえ、プロボノチームから「広報活動提案書」として、(1)認知度アップ施策(PRキャンペーン、かわら版などで集中的な広報活動) (2)運営体制施策(アイデア出しや資料作成などの体制) (3)利用し易さアップ施策(依頼方法の見直し等)を提案しました。また、広報活動に必要な「かわら版」「イベント案内チラシ」のテンプレートを提供し、イベント案も提示しました。

早速、チラシのテンプレートを活用し、サポートスタッフの募集と説明会を1月に団体さんが実施され、また運営役員の集まりを開いて今後の活動についての話し合いも行われました。

住民も運営役員も高齢化していく中、今回のプロジェクトの成果物を活用いただき、新たな仲間を募りつつ、出来ることから少しずつ歩みを止めずに活動いただけることをプロボノチームも願っています。

(2022年2月2日時点の情報です)

プロジェクト紹介

金沢東部地区社会福祉協議会



金沢区

金沢東部地区社会福祉協議会

プロジェクトの種類 マーケティング基礎調査（住民ニーズ調査）

プログラム

ハマボノ

進捗率 進捗率 100 %

進捗状況

プロジェクト成果

その後の変化

金沢東部地区社会福祉協議会（地区社協）は、金沢東部地域の福祉課題を、地域住民自身がその課題の解決に向けてお互いに協力し合う住民組織です。地域住民の代表、民生委員・児童委員、などから成り立っています。

自主事業として、庭木の剪定・草刈り、簡単な家事手伝い、乳幼児の遊び広場の提供、青少年の健全育成で社明運動やボランティア育成などを運営。また、他の地域団体に対する支援事業として、にししば土曜塾の開催、谷津坂文庫、放課後の居場所「スペース谷津坂」の開催などを支援しています。

多岐にわたる地域支援を行っているものの、社協の活動として認知されていないことが多く、認知度不足からボランティアが思うように集まりません。（左記の理由から、地区社協認知度向上を目的としてシンボルマークを2022年3月末完成予定）

そこで、ハマボノでは、地区社協に対する住人の認知度やボランティア参加ニーズ調査を行い、認知度向上とボランティア数増加に向けた施策を検討します。

（認知度向上の施策には、出来上がったシンボルマークの活用方法の検討を含みます。）

進捗状況

リーダー： 梶谷さん

メンバー： 上條さん 鈴木さん 高沢さん 田代さん

2021.09.11



チーム初顔合わせとなるオリエンテーションを実施しました。

今後の進め方の確認や、プロジェクトゴールの確認などを行いました。今後キックオフに向けて、団体に聞きたい事項のまとめや、プロジェクトの進め方などを検討していきます。

2021.09.23

キックオフの準備のためにチームミーティングを行いました。

2021.10.02



キックオフミーティングを実施し、プロボノチームと支援先団体、支援者の皆さんとの顔合わせをしました。プロボノチームが事前に整理をした質問やご提案をご説明し、活動への理解を深め、今後の流れの確認をしました。

2021.10.02

キックオフ終了後に早速チームでミーティングを行い、今後の作業について整理しました。

2021.10.09

団体が地域住民向けに行うイベントに参加し、活動の様子を見学しました。

2021.10.10

団体へのヒアリングとチームミーティングを実施しました。

2021.10.17

チームミーティングを実施しました。

2021.10.24

チームミーティングを実施しました。

2021.10.31

個別ヒアリングを実施しました。

2021.10.31

ヒアリング以外の調査を実施しました。

2021.10.31

対象事業・商品・サービス等の現状把握を実施しました。

2021.11.03



初の対面でのチームミーティングを実施しました。@横浜市民活動推進センター
アンケート内容や団体周知のためのチラシ制作について話し合いました。

2021.11.27

収集した情報のまとめと分析を実施しました。

2021.11.28



中間提案ミーティングを実施しました。

ハマボノチーム5名全員、社協9名、金沢区社協1名が参加し、アンケート内容と一緒に配布するチラシ案について最終検討しました。大変和やか且つ活発に意見交換が交わされ、アンケート内容とチラシが確定し、検討に検討を重ねたハマボノチームの努力が実りました。事前にも社協さんとのすり合わせを入念に行い、ハマボノチームは熱心に社協さんのご要望に応じていました。これから1か月半かけてアンケートを回

収し、今後の提案につなげます。

2021.11.28

提案に対する回答と承認を実施しました。

2021.12.19

アンケート回収期間を利用して地区社協ホームページの簡単な改善提案を実施しました。

2022.01.23

団体へのアンケート報告と意見交換を実施しました。

活発な意見交換が行われ、いよいよ最終提案に向けて最終工程に入ります。

2022.01.29



成果提案ミーティングを実施しました。
大変和やかな雰囲気で行われ、愛情たっぷりの会になりました。
素晴らしいアンケート分析と改善提案（プラスHPの改善提案）でした！

2022.02.02

提案に対する回答と承認を実施しました。

プロジェクト成果



地域住民の認識度の向上と今後の活動発展に向けた住民ニーズ調査を実施。これをもとに、住民の皆さんの期待にさらに応える活動を目指します。

この度のハマボノでは、今後の活動発展につなげるために、活動の認識度、地域の方の期待などについて、アンケートによる住民ニーズ調査を行いました。

まず団体の活動紹介チラシを作成し、アンケートとあわせて全戸配布。その効果として、それまで活動をご存じなかった方にも活動を知っていただくことにつながりました。

アンケート結果からは、活動の認識度、地域ボランティアに関する潜在的なニーズなども知ることができ、調査結果に基づいた今後のアクションについてもプロボノチームから提案しました。また、プロボノチームは、アンケート回収を待つ期間を利用して、団体の課題であったホームページの改善提案も整理しました。プロジェクトを終え、支援先の方から、「早速、対策委員会を立ち上げ、アンケート結果を丹念に読み込みながら今後の活動方針を検討することで、より一層住民のニーズに沿った活動をすることができるようになります。」という感謝の声をいただきました。

なお、ハマボノと並行して、ハマボノminiのプロジェクトでは、認識度向上のための「シンボルマーク」を作成しました。地域内で募集し選ばれたシンボルマークの案を、データとして整え、様々な活用が出来るようにパターンも変えて納品しました。「多くの場面で利用することにより、今後は活動と結びついた地区社協の顔になってくれると思います。」というご感想をいただきました。

プロジェクト成果の“その後”



アンケート調査結果をもとに提案いただいた地域の方へのアンケート結果の周知は回覧で行いました。何かしてみたい方への説明会は、2回実施し参加者は約30名、そこから13名が新たにボランティアの仲間に加わりました。今までの活動の枠にははまらない活動希望もあり、2つのサークルが新たに立ち上がりました。

また、アンケート推進委員会を発足し、これまでに打合せを6回実施、調査結果の分析と整理をしながら、今後の活動について議論しています。アンケート回答者全員とは連絡をとり、希望される方とは継続して繋がっています。支援希望の回答があった方には、例えばパソコン支援の要望についてはLINE講座を開催するなど地域でのサポートを含めた面での対応を検討、推進しています。

プロジェクトで提案いただいたホームページの改善については、提案内容をもとに、トップページをより見やすく改善しました。今後は、各活動のメンバーで更新を行えるようにしていく予定です。

今回のハマボノの活動により、地域のつながりがより深くなりました。

[2023/2/19 金沢東部地区社会福祉協議会 田中様、宮野様、他メンバーの皆さまへのヒアリングより／ご協力：プロボノワーカー梶谷さん、上條さん、高沢さん]

プロジェクト紹介

居場所づくり濱なかま



港北区

居場所づくり濱なかま

プロジェクトの種類 事業計画立案（中長期事業計画立案）

プログラム

ハマボノ

進捗率 進捗率 100 %

進捗状況

プロジェクト成果

その後の変化

城郷地域に多世代の居場所をつくることを目的に下記の活動に取り組んでいます。同年代の子育て世代の支援活動からはじめ、現在は高齢者に向けての支援活動へと展開しています。

1. サロン運営

- (1) とりやまの郷（横浜市介護予防・生活支援サービス補助事業（サービスB））
- (2) 月曜カフェ（他団体と連携して定期／不定期サロンを開催）
 - (A) 定期サロン：小机ギター茶会、こころのホットカフェ、健康測定会、スマホ講座
 - (B) 不定期サロン：学びのサロン、地域音楽LIVEなど

2. 地域の人々が城郷の地区の情報を得るしくみづくりとして、リーフレット制作プロジェクト等の地域情報ポータルサイト運営設立を進めています。

今後、利用者や協力を増やすために、スタッフの運営体制や活動の情報発信の強化、加えて、利用者とスタッフが一体となった居場所づくりを一層推進できるよう、今後の活動指針や行動計画のスタッフ内の共有化を図りたいと考えています。

そこで、今回のプロジェクトでは、現在策定中のミッション・ビジョンをスタッフ内で共通認識としながら、今後の居場所づくり濱なかまの活動を、より活性化するために、中長期活動における具体的な行動計画と工程表の作成を支援します。

進捗状況

リーダー： いしちゃん

メンバー： まいねえ たあ坊 えりちゃん しょうへいさん

2021.09.11



オリエンテーションを実施しました。初めての顔合わせでしたが、皆さん積極的にご参加くださいました。キックオフミーティングに向けて活動開始です。いよいよ始動です！

2021.09.26

キックオフミーティングに向けて、チームにて準備の打ち合わせを実施しました。

2021.10.02



プロボノチームと支援先団体さんとの初顔合わせの場であるキックオフミーティングをオンラインで実施しました。事前に共有されたプロボノワーカーの皆さん作成の資料をもとに、自己紹介からはじまり、団体さんの活動についてプロボノワーカーの皆さんが理解を深め、今後のプロジェクトの進め方のすり合わせをしました。

2021.10.07



居場所づくり濱なかまの皆さんとの打ち合わせを実施しました。ステークホルダーを確認しながら、ヒアリングの方向性を整えていきました。また、ミッション・ビジョンの策定状況を共有いただきました。皆さん、ニックネームで呼び合いながら和気藹々とした雰囲気の中、活発にご発言いただきました。

2021.10.10



プロボノチームで、10月7日に行った支援先さんとの2回目のミーティング内容を受け、支援先さんへ提示するプロボノ成果物イメージとヒアリング対象者について話し合いをオンラインで行いました。

2021.10.18

ヒアリングに向けての準備を整え、支援先団体さんとの日程調整に入りました。また、成果物のイメージの共有や中間提案に向けての調整も実施しました。

2021.10.28



オンラインでチームミーティングを行いました。ヒアリング進捗の情報共有、中間提案までの次のアクション（事業計画作成のための課題整理や施策検討など）を話し合いました。

2021.10.30



支援先さんの重要なステークホルダーの方々(団体事務局スタッフの方、地域ケアプラザ担当の方、コンサルティング担当の方)にヒアリングを行いました。

2021.11.01



昨日に続き、支援先さんの重要なステークホルダーの方々への個別ヒアリングを実施しました。

2021.11.03



プロボノチームの2名が、とりやまの郷音楽サロンの見学(参加)をさせていただきました。

た。地域密着の素晴らしい活動で参加者の皆さんも大変楽しまれてる様子が印象的で、今後のプロボノ活動のために大変参考になりました。

2021.11.04



ヒアリング進捗確認と情報共有、支援先団体さんの活動見学報告、次回チームミーティングの準備確認のチームミーティングを実施しました。中間提案に向けて活動のピッチをあげていきます

2021.11.10



11/8(月)と11/10(水)に支援先団体の事務局スタッフの方と地元をよく知る地区社協の方にヒアリングをオンラインで行いました。

2021.11.14



横浜西城郷小机地域ケアプラザさんの会議室で、支援先団体さんの課題整理と解決策のプレストを行いました。チームメンバー全員が対面で集まるのは初めてとなりました。ケアプラザご担当者にオブザーブ頂き色々とおアドバイスを頂きました。

2021.11.17



オンラインでチームミーティングを行いました。支援先さんとの中間提案ミーティングに向けて前回ミーティングの振り返りと提案資料の構成と作成分担を話し合いました。

2021.11.27



横浜市中心小机地域ケアプラザさんの会議室で、支援先団体さんへの中間提案に向けて提案内容と提案資料の確認を行いました。メンバーの方から今川焼の差し入れがあり、頬張りながら和やかな雰囲気スタートしましたが、次第に熱いディスカッションの場となりました。ケアプラザご担当者にもオブザーブ頂きアドバイス頂きました。

2021.12.02



チームでの打ち合わせを開催し、資料内容、発表分担、今後のスケジュールなど支援先さんとの中間提案ミーティング前の最終確認を行いました。

2021.12.04



横浜市中心小机地域ケアプラザさんの会議室で、支援先団体さんと中間提案ミーティングを行いました。区、ケアプラザ、社協の関係者の皆様方にも同席頂きました。最終提案に向けて事業計画作成の基本方針、課題や施策の確認を行いました。

2021.12.09



中間提案を受けて、今後実施すべきことをチームで整理しました。

2021.12.11



支援先さんへの中長期事業計画（案）に盛り込む施策の一部について再検討を行いました。

2021.12.15



チームミーティングを開催し、支援先さんとの中間提案ミーティングで宿題と

なった一部施策の詳細（案）と追加（案）の検討を行いました。

2021.12.27



チームミーティングを開催し、支援先さんのフィードバックシートの確認、対応を話し合いました。

2022.01.04

支援先さんの代表の方と、中間提案フィードバックの内容の確認とご説明を行い、最終提案の方向性についての打ち合わせを行いました。

2022.01.08



チームにて、先日行った支援先さんとの打ち合わせ内容のチームメンバーへのフィードバックと最終提案内容について話し合いました。

2022.01.22

1/29（土）予定の成果提案ミーティングでの最終提案内容、発表の分担など最終確認を行いました。



2022.01.29



オンラインにて成果提案を行いました。プロボノチームの提案の発表後、団体の方々より「自分達のビジョン・ミッションに向き合え、マインドも変化してきた」「多様なアイデアをいただき、実行可能で現実的な内容であった」「学校との繋がり等実施していきたい」という

感想をいただきました。また支援者の皆さんからもねぎらいの言葉をいただきました。最後にプロボノチームより...「メンバー一同、今後の居場所づくり濱なかまさんのご活躍、ご発展を楽しみにしています！」

2022.02.02

提案に対する回答と承認が実施され、プロジェクト完了しました。

プロジェクト成果



スタッフ一丸となって活動のできる中長期計画を「利用者拡大施策」を焦点に提案しました

「濱なかま」に関わるスタッフ全員が、中長期計画や目指す姿を理解し一丸となって活動を推進することができるように、そして、外部ステークホルダーに活動目的と内容を説明し「濱なかま」の活動の理解と支援を得るために、今後の計画や目指す姿を文書化しました。

利用者拡大に焦点を当て、(1)広報(2)サロンの利用拡大について、具体的な施策案と中長期の工程表を成果物としてお渡ししました。

また、サロン活動を発展させ、地域の皆さんとのつながりの幅を広げるワクワクする施策アイデアも提供しました。

濱なかまの皆さんからは、ハマボノの活動を行ったからこそ団体の「ミッション・ビジョン」を定める機会となり、スタッフ間で団体活動の意義を見つめ直し、改めて「濱なかま」の活動の素晴らしさを認識することができたこと、そして、これからも地域で多世代の皆さんに「心地よく楽しい居場所」をつくることに邁進できるエールとなった、との言葉をいただきました。

プロジェクト成果の“その後”



ハマボノを経験するなかで団体内で言語化したビジョンとミッションは、今年度幾度となく登場し、その存在は団体内で確固たるものとなりました。また、制作いただいた成果物は、団体内の事務（スケジュール共有）などで利用しました。団体のアクションプランの整合性などを確認するのにも利用しました。具体的に進めているアクションは、団体の法人化、拠点作り、広報ツール強化と運営スキル向上などです。

拠点づくりは、ヨコハマ市民まち普請事業に採択されたこともあり、令和5年度中に現実的できそうです。その申請にあたっては、濱なかまがなぜ拠点を整備するのかという原点を地域へ説明するのにこのビジョンを提示することで、周囲の理解を促進できたと考えています。ハマボノを経験したからこそ言語化できたビジョンとミッションなので、本当にやってよかったと団体メンバーみなが思っています。

[2023/2/2 居場所づくり濱なかま代表岩田さま メールヒアリングより]

プロジェクト紹介

竹山地区社会福祉協議会



緑区

竹山地区社会福祉協議会

プロジェクトの種類 印刷物（団体紹介パンフレット）

プログラム

ハマボノ

進捗率 進捗率 100 %

進捗状況

プロジェクト成果

その後の変化

竹山地区社会福祉協議会は昭和62年に発足し、竹山の人々が安心して生活できる「福祉のまちづくり」の実現を目指し活動しています。高齢化が進む団地において、住人同士がつながることで、孤立化を防ぐために竹山連合自治会、民生委員児童委員、各行政協力員、地域ボランティアと一緒に、高齢者・障害者への配食サービスをはじめ、地区ボランティアセンター、ふれあいさろん竹多久（ちくたく）の運営など、福祉活動の拠点としての役割を果たしています。

地域のささえあい活動の維持・活性化のために、今回のハマボノプロジェクトでは、地区社協の認知度向上及び、利用者やボランティアを増やすことを最終的な目的として、地区社協の活動、ボランティア活動の魅力を紹介するパンフレットを作成します。

また、パンフレット作成に向けて、ボランティアや利用者へのアンケート/ヒアリング等を通して、地区社協の認知度や住民ニーズ、ボランティアや利用者からの魅力・強みなどを調査します。

進捗状況

リーダー： 関さん
メンバー： 鶴崎さん 高宮さん 三小田さん

2021.09.11



プロボノチームの初顔合わせであるオリエンテーションを実施しました。チームの連絡方法や今後のステップなどの確認をしました。今後は、団体とのキックオフミーティングに向けて動き出します。

2021.09.20

キックオフの準備のために、チームミーティングを実施しました。

2021.09.25

チームミーティングを行い、キックオフで団体に確認したい事項などをまとめました。チームメンバーによっては、実際に団地周辺を訪れ、周辺環境を確認しました。

2021.10.02



キックオフミーティングを実施し、プロボノチームと支援先団体、支援者の皆さんとの顔合わせをしました。プロボノチームが事前に整理をした質問やご提案をご説明し、活動への理解を深め、今後の流れの確認をしました。

2021.10.07

チームミーティングを実施しました。

2021.10.13

チームミーティングを行い、団体から共有してもらった、過去の住民アンケートデータを皆で確認等を行いました。

2021.10.19

配食サービスやふれあいサロン竹多（ちくたく）の見学と関係者へのヒアリングを実施しました。

2021.10.20

チームミーティングを実施しました。

2021.10.22

竹山地区社協の役員会議に参加しました。

2021.10.31

対象事業・商品・サービス等の現状把握を実施しました。

2021.10.31

ヒアリング以外の調査を実施しました。

2021.11.10

追加の個別ヒアリング（緑区社会福祉協議会、鴨居地域ケアプラザ）を実施しました。

2021.11.13

活動（包丁研ぎ）見学を実施しました。

2021.11.26

竹山地区社協さんの役員会に参加しパンフレット案を提示し意見交換をしました。

2021.11.26

収集した情報のまとめと分析を実施しました。

2021.12.17

中間提案ミーティングを実施しました。竹山地区社協の皆さんとハマボノチームの皆さんにより大変有意義な意見交換の場となりました。最終提案までラストスパート！引き続きよろしくお願ひ致します。

2022.01.08

団体への事前提案を実施しました。
活発な意見交換が行われいよいよ最終提案に向けて最終工程に入ります。

2022.01.28



成果提案ミーティングを実施しました。
大変和やかな雰囲気で行われ、地区社協、プロボノ、支援者が信頼関係を築き、たっぷりの愛情が籠った素晴らしいパンフレットになりました！

2022.02.02

提案に対する回答と承認を実施しました。

プロジェクト成果



竹山地区社協の魅力をもとめた素晴らしいパンフレットが完成。これからがスタート！仲間を増やし、より良い活動を目指します！

地域のささえあい活動の維持・活性化のために、活動の認知度を向上し、利用者やボランティアを増やすことを最終的な目的として、日頃の活動や、ボランティア活動の魅力を紹介するパンフレットを作成しました。

まず、パンフレット作成に向けて、利用者やボランティアの方へのヒアリングを行い、地区社協の認知度や住民のニーズ、活動している側から見た団体の魅力や強みなどを調査しました。それを通して、活動へのニーズや期待はもちろん、活動している皆さんも初めて聞く、団体設立当初の思いも確認できたなどの副産物も得ることができました。

プロジェクト中は、団体の近くに住むプロボノ参加者が拠点訪問や定例会参加をしたことで、一層信頼関係を築くこともできました。そして、活動に関する深い理解のもとにパンフレットが作成され、団体の想いも反映することができ、団体の皆さんにも納得いただける素敵なパンフレットが完成しました。

支援先の方からは「丹念なヒアリングをしていただいたことで、活動の整理を同時にしていただき、素晴らしいパンフレットを作っていただきました。ありがとうございました。」という感謝の声をいただきました。

プロジェクト成果の“その後”



成果物のパンフレットは、当初の予定通り、地域への全戸配布（約3,000部）を実施しました。また、11月に開催された竹山福祉まつりの参加者にも配布しました。その他竹山地区の各所にラックを設置し手に取ってもらえるようにしたり、地区社協が関わるイベントなどで配布しています。地域の方が地域ケアプラザに相談に来た際にも参考にお渡ししています。

コロナ禍でイベント開催の機会が限られており、まだ積極的に活用はできていないのが実情ですが、このパンフレットを見て地区社協関係の活動に参加した、という方もいらっしゃるなど、効果が少しずつ出てきています。

また、他の地域でも、地区社協等の各種活動を知ってもらおう広報が課題となっているようですが、そのようなお話をする場面では、当パンフレットを紹介し広報媒体の参考としてもらう機会も増えているなど、竹山地区社会福祉協議会の活動以外へも活用が広がっています。

[2023/1/24 竹山地区社会福祉協議会 青木様・小野寺様・平田様、鴨居地域ケアプラザ 伊藤様・西田様へのヒアリングより/ご協力：プロボノワーカー高宮さん]

プロジェクト紹介

ふらっとステーション・ドリーム



戸塚区

ふらっとステーション・ドリーム

プロジェクトの種類 課題整理ワークショップ（棚
ショップ活用方法提案）

プログラム

ハマボノ

進捗率

進捗率 100 %

進捗状況

プロジェクト成果

その後の変化

地域住民の食を通じた交流、居場所の運営及び健康づくりの推進を行っています。

具体的な活動は、

1. サロン事業：住民が飲食を共にし、交流する場の運営
2. 文化交流事業：琴演奏、ジャズコンサート、歌、ピアノライブ、ギャラリー（写真・絵画等展示）、英会話等
3. まちの保健室開設：看護師が定期的に健康・医療・介護等の相談を実施。2021年度より在宅看護センターが地域貢献として無料の相談コーナーを開設
4. 地域運営支援事業：自治会、小学校、民生委員、ケアプラザと地域のNPOや任意団体がネットワークを組み、地域課題解決に取り組む「深谷台地域運営協議会」を設置し、事務局を担当。ふらっとステーション独自の取り組みとして、心の病を持つ人たちの居場所（フリースペースぼぼら）開設と地域向けの学習会を実施。
5. マイショップ事業：地域の人たちが創作した小物・アクセサリーや推薦する物品の展示・販売
6. 情報収集・発信事業：ふらっと事業のHP更新とふらっと通信発行です。

このような活動を継続しながら、地域住民である利用者やシニアスタッフが、楽しく生き甲斐を感じる交流が出来る活動をより一層推進し、カフェその他の自主事業で収益を上げる施策を模索しています。

そこで、今回のプロボノでは、安定した収入源のひとつであるサロン内の棚ショップを、地域のつながりの場として、出店者のやりがいも生み出し、出展者や運営スタッフが生き生きと活動できる、効果的な活用方法を提案します。

進捗状況

2021.09.11



オリエンテーションを実施し、チームの初顔合わせ、チームミーティングでプロジェクト内容の確認などを行いました。欠席の方がいらっしゃったため、キックオフミーティング前に改めてチームミーティングを実施予定です。

2021.09.25

チーム内ミーティングを実施し、団体への質問や提案の整理をしました。

2021.10.02



キックオフミーティングを実施し、プロボノチームと支援先団体、支援者の皆さんとの顔合わせをしました。プロボノチームが事前に整理をした質問やご提案をご説明し、活動への理解を深め、今後の流れの確認をしました。

2021.10.09



団体の活動場所を訪問し、棚ショップ利用者などへのヒアリングを実施しました。

2021.10.16



団体の活動場所を訪問し、棚ショップ利用者などへのヒアリングを実施しました。

2021.10.17



団体の活動場所を訪問し、棚ショップ利用者などへのヒアリングを実施しました。

2021.10.23

ヒアリング結果をもとに、チームミーティングにて、棚ショップの課題の整理をしました。

2021.10.27



チームミーティングを実施し、前回のミーティングで挙げた棚ショップの課題について、提案内容のアイデアを出し合いました。

2021.11.02

オンラインでチームミーティングを実施し、提案内容についての検討を深めました。11月下旬に中間提案を実施する方向で日程調整を進めます。

2021.11.20



中間提案ミーティングを実施しました。ヒアリングなどを通して見えてきた課題に対して、棚ショップ活用に向けた10のご提案をチームからお伝えしました。どれも参考になると喜んでいただき、早速団体としても着手できそうなものもあるというコメントをいただきました。団体内で検討いただき、残りのプロジェクト期間でプロポノチームとして具体化できる提案について団体の希望を伺い、最終成果物を検討する予定です。

2021.11.21

中間提案にご提示した提案について、団体内で検討いただき、早速ご提案した中から1つイベントを実施する方向となったようです。それに向けてチームがどのような支援をさせていただけるか、チーム内で検討をします。

2021.11.26

イベントの実施に向け、チームからは、イベント企画のサポート（企画書作成）と、イベント案内チラシ作成のお手伝いを最終成果物としてご提案しました。

2021.12.03

支援先団体の皆さんの方で、早速イベント内容の検討を進めてくださっています。12月に最終訪問をし、イベント企画などの確認を行う予定となりました。

2021.12.11



支援先団体を訪問し、イベント企画についてのディスカッション、チラシのご提案と更新方法のご説明などを行いました。棚ショップをご紹介するためのイベント（1月29日（土）に決定）に向けて、引き続き、支援先団体の皆さまの方で、出品内容がわかる写真をチラシに入れ、当日運営などの確認を進めていただくこととなります。イベント企画書、およびチラシデータをその場でお渡しし、プロジェクトは完了となりました。

2021.12.11

提案に対する回答と承認を実施しました。

プロジェクト成果



棚を活用した「マイショップ」へ、10の活用提案。その中から団体ができることを少しずつ実施していきます。

ふらっとステーション・ドリームの「マイショップ」は、棚を活用した、小さなお店です。手仕事得意な方が作った手芸品や工芸品、地域の方に紹介したい商品などが並んでいます。ランチやイベントでふらっとステーション・ドリームを訪問する方が、欲しいものを見つけて気軽に買い物ができます。出店する方にとっても、趣味を活かしたりちょっとした収入を得ることができる場でもあります。

これを活性化させるために、プロボノチームはまず出店者や利用者の皆さんの声を聞き、それをもとに、マイショップの活用について、広報、棚の見せ方、商品などについて、全部で10の提案をしました。

プロボノチームからの提案にわくわくしながら、早速支援先の皆さんが着手したのは、チラシとイベント企画です。マイショップを紹介するチラシは、早速地域の掲示板に貼りました。イベントは、残念ながら新型コロナウイルス感染予防のために延期となりましたが、具体的な企画まで進み、実施できる時期を待つばかりです。

(2022年1月25日時点の情報です)

プロジェクト成果の“その後”



新型コロナウイルスの状況も落ち着き、ハマボノチームの提案の1つとしてプロジェクト中に企画をしていた「にぎわい広場」をようやく実施することができました。お客さんを待つだけでなく、ふらっとステーションに普段来ない人にも知ってもらいきっかけとなるイベントとして、チームと一緒に実施に向けたディスカッションもしました。

イベント当日はとてもいいお天気で、常連のお客さんだけでなく、たまたま近くを通った方も寄ってくださり「また来ますね」とおっしゃってくるなど、少しずつ輪が広がった印象です。スタッフの皆で、朝からカレーを作ったり設営をしたりと、にぎやかに運営しました。

棚ショップは、プロボノの提案も参考にしながら、少しずつ変化をしています。シャッターを開けて外からも見えるようになり、明るくなったと言ってもらっています。棚の値段も見直し、利用しやすいようにしました。空いている棚は募集の案内を掲示したり声掛けをしたりしながら、利用者を募集しています。この3月から東北支援のための商品も棚に置き、様子を見て今後の継続を検討していこうとしています。福祉施設にも無料で棚のスペースを提供して、障害のある方にも出品いただいています。

[2023/4/9 ふらっとステーションドリーム 棚ショップご担当 山下様へのヒアリングより]